

【担い手の確保と新分野への挑戦】

先ほどから、高知県は一次産業が非常に強いと話してきましたが、その担い手の数が減っています。それを何とかしなければなりません。そのために、例えば、新しく農業をやりたい人に対して、土地のあっせんをしたり、技術の研修をしたりとか、そういう仕組みを作って、農業とか林業、水産業、これに取り組もうとする人の数を増やそうとしているところです。

それに合わせて、新しい分野、新しい産業分野で、高知県の強みを磨き上げていくことも重要だというふうに考えています。食品加工、健康福祉、天然素材や環境ビジネスなど、こういうものは、高知県にも一定力があって、かつ全国的に非常に追い風の吹いている分野です。こういう分野での企業の取り組みを全面的にバックアップするような努力をしています。

そしてもう1つが、コンテンツ産業。これも高知県にとっては非常に有望な分野じゃないかと思い、今、伸ばそうとしているところです。高知県は、人口の割に漫画家の数が非常に多いところで有名です。この漫画とコンピュータのソフトとか、さらにもっといろいろなコンテンツ関係の産業、映像だったり、音楽だったり色んなものがあると思いますが、こういうものこそ、もしかしたら、高知県のようなどころでは非常に有望かもしれないと思っています。

こういうものは、コンピュータでやり取りをするので、場所が遠いとか近いとか、それから行き来が不便だとか、そういうことは関係ないんです。高知のような暮らしやすいところ、休みのときは自然に癒されてもらうという、そういうほうがいいかもしれません。そういう、場所を選ばない産業やコンテンツは、高知県のほうが有利じゃないか。いや、むしろ、高知県にはそういうアイデアを持っている人がたくさんいますということで、今、このコンテンツ産業を伸ばそうと思っています。